

2023年クラブ 競技成績	
1月 新年杯 2023年01月08日(日)【使用コース】高千穂 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 土田 英昭 79 15 64 月例杯年齢別 A組 2023年01月15日(日)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 秋山 秀信 87 21 66 月例杯年齢別 B組 2023年01月22日(日)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 鎌田 琢二 78 8 70	3月 弥生杯 2023年03月21日(日)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 富永 輝美 95 21 74 UMK杯 2023年03月26日(日)【使用コース】高千穂 住吉 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 岡本 勝彦 74 9 65
2月 月例杯ハンディ別 A組 2023年02月05日(日)【使用コース】高千穂 住吉 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 杉尾 照章 83 16 67 月例杯ハンディ別 B組 2023年02月12日(日)【使用コース】高千穂 住吉 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 黒田 福史郎 89 22 67 立春杯 2023年02月19日(日)【使用コース】高千穂 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 徳永 多知男 87 25 62	4月 開場記念杯 2023年04月2日(日)【使用コース】高千穂 住吉 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 山崎 紀都 95 32 63 開場記念杯 2023年04月3日(日)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 黒田 福史郎 86 21 65
3月 月例杯年齢別 A組 2023年03月05日(日)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 小波津 真岐子 85 21 64 月例杯年齢別 B組 2023年03月12日(日)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 嶽崎 宗規 83 15 68	5月 月例杯年齢別 A組 2023年05月07日(日)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 本田 雅範 90 22 68 月例杯年齢別 B組 2023年05月14日(日)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 進藤 有治 83 15 68
4月 月例杯ハンディ別 A組 2023年06月18日(日)【使用コース】高千穂 住吉 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 甲斐 秀一 79 11 68 月例杯ハンディ別 B組 2018年06月25日(日)【使用コース】高千穂 住吉 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 後藤 隆一 85 23 62	6月 あじさい杯 2023年06月11日(日)【使用コース】高千穂 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 遠山 喜一郎 98 33 65
5月 月例杯年齢別 A組 2023年07月02日(日)【使用コース】高千穂 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 甲斐 秀一 76 11 65 月例杯年齢別 A組 2023年07月09日(月)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 上村 健太郎 90 25 65 月例杯年齢別 B組 2023年07月16日(日)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 川野 芳弘 81 12 69	7月 盛夏杯 2023年07月02日(日)【使用コース】高千穂 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 甲斐 秀一 76 11 65
6月 月例杯年齢別 A組 2023年08月13日(日)【使用コース】高千穂 住吉 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 杉尾 照章 84 14 70 月例杯ハンディ別 A組 2023年08月20日(日)【使用コース】高千穂 住吉 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 菊池 清文 91 23 68 葉月杯 2023年08月27日(日)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 高橋 雅弘 87 22 65	8月 大橋杯 2023年08月06日(日)【使用コース】高千穂 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 宮下 英八 84 16 68
7月 月例杯年齢別 A組 2023年09月10日(日)【使用コース】高千穂 住吉 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 秋山 秀信 85 21 64 マスター杯 2023年09月14日(木)【使用コース】高千穂 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 濱田 順二 96 28 68	9月 月例杯年齢別 B組 2023年09月17日(日)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 嶽崎 宗規 86 15 71
8月 月例杯年齢別 A組 2023年10月01日(月)【使用コース】高千穂 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 後藤 寛明 94 32 62 月例杯ハンディ別 A組 2023年10月08日(日)【使用コース】高千穂 住吉 競技参加人数未達で中止 月例杯ハンディ別 B組 2023年10月15日(日)【使用コース】高千穂 住吉 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 鳴海 功志朗 87 19 68	10月 コスモス杯 2023年10月01日(月)【使用コース】高千穂 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 後藤 寛明 94 32 62
9月 月例杯年齢別 A組 2023年11月05日(日)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 高橋 雅弘 87 22 65	11月 月例杯年齢別 A組 2023年12月14日(木)【使用コース】高千穂 住吉 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 栗林 忠信 92 25 67
10月 精励杯 2023年12月14日(木)【使用コース】高千穂 住吉 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 栗林 忠信 92 25 67	12月 忘年杯 2023年12月24日(日)【使用コース】住吉 日南 順位 参加者氏名 GROSS HDCP NET 優勝 椎 康一 89 22 67

2023年度 各クラブ選手権優勝者

クラブ選手権

2023年5月21日(1日目)

2023年5月28日(2日目)

高千穂 → 住吉 → 日南

27ホール・

ストローク(スクラッチ)

順位	氏名	1日目	2日目	TOTAL
チャンピオン	永井 勝己	112	112	224
2 位	馬場 尋樹	119	110	229
3 位	乙守 修	119	113	232

シニア選手権

2023年4月 9 日(1日目)

2023年4月16日(2日目)

高千穂 → 住吉 → 日南

27ホール・

ストローク(スクラッチ)

順位	氏名	1日目	2日目	TOTAL
チャンピオン	乙守 修	114	117	231
2 位	馬場 尋樹	117	120	237
3 位	成松 和幸	120	118	238

ゴールドシニア選手権

2023年4月 9 日(1日目)

2023年4月16日(2日目)

高千穂 → 住吉

18ホール・

ストローク(スクラッチ)

順位	氏名	1日目	2日目	TOTAL
チャンピオン	馬淵 博臣	76	82	158
2 位	志岐 長生	84	90	174
3 位	松田 靖宇	88	89	177

理事長杯優勝

藤村 洋海 様

2023年9月10日(1日目)

2023年9月17日(2日目)

グランドシニア選手権

2023年4月 9 日(1日目)

2023年4月16日(2日目)

高千穂 → 住吉

18ホール・

ストローク(スクラッチ)

順位	氏名	1日目	2日目	TOTAL
チャンピオン	中島 眞司	80	81	161
2 位	郷司 俊次	75	87	162
3 位	中馬 正昭	82	81	163

レディース選手権

2023年4月 9 日(1日目)

2023年4月16日(2日目)

高千穂 → 住吉

18ホール・

ストローク(スクラッチ)

順位	氏名	1日目	2日目	TOTAL
チャンピオン	乙守 みえ子	84	85	169
2 位	小島 益美	95	95	190
3 位	權藤 るみ	96	98	194

競技委員長からの総評

コンペティション委員会
委員長
井上 清美

競技会の質の向上・技術の向上・参加者の増加をどうするかということを目標に運営委員がコンペティション委員会で議論してまいりました。

運営委員からは、競技参加者は、技術の向上は非常に高くなってきているという声をよく聞くようになってきました。

また、うれしいことにインター選手権では2度目の優勝を果たし、フェニックスのゴルフの技術の高さを広めていただいたのではないかと思います。

今後も皆様のゴルフライフが送られることを心よりお祈りいたします。

Phoenix
Green

No. 10

世界が知る場所。

世界を知る場所。

PHOENIX

PHOENIX COUNTRY CLUB

住吉No.2

霞ヶ関カンツリー倶楽部 訪問記

辻達諭競技委員



霞ヶ関カンツリー倶楽部

名門と呼ばれるクラブ、および クラブライフとはどのようなものか

競技委員の研鑽を目的として名門「霞ヶ関カンツリー倶楽部」の視察ラウンドの機会を得、紙面をお借りしてご報告いたします。訪問日は7月20日、21日。宮本恵介委員、馬場尋樹委員、案内役の宇佐見雅史メンバーと筆者の4名で訪問いたしました（旅費、プレイフィーはすべて自費でしたのでその点は誤解なきようお願いいたします）。



クラブハウス内の雰囲気

オリンピック会場になったコースはもとより、武蔵野の林に囲われたクラブハウスもPCC以上に立派なものでした。受付後の最初の洗礼(?)は完全にメンバーとビジターのフロアを1階と2階に完全に分けたロッカーでした。

まさにメンバーを中心としたクラブ運営を感じさせるもので、同時にメンバーも全員がジャケット着用だけでなくラウンド中もメンバーワッペンを身につけており、自らがメンバーであることがひと目でわかるようにされています。

クラブメンバーの様子

平日でしたが老若男女のメンバーが多く来場されており、60~70歳前後がメンバーの平均的な年齢に見受けられましたが、30~40代のメンバーも散見され多くは2代目、3代目のご子弟とのことでした。ドライビングレンジでも和気藹々と会話されており、話題（ゴルフに限らない）からして若いメンバーを子供の頃から知っている様子が家族的なつながりがクラブ全体に息づいているようでした。

我々ビジターにも、ドライビングレンジ、アプローチ練習場、そして浴場でも気軽に声をかけてこられ、とてもフレンドリーな雰囲気が溢れていました。



ハーフ1時間50分のラウンドとは、いかなるものか？

一方で、ラウンドは緊張感を感じさせるものでした。色柄物は不可というドレスコードや初訪問の緊張もありますが、ハーフ1時間50分でラウンドするように言明されおり（果たして可能なのか?）という不安が入り混じった思いでのティーオフです。

結論から言うと、1時間50分のラウンドは十分に可能です。PCCでも可能なことと思います。参考に気付いたポイントを挙げると次のようなものです。



気付かされたファストプレーの工夫とコツ

- 最初にカップインしたプレイヤーはすぐに次のティーイングエリアに行き、先にティーショットを打つ
- 他プレイヤーのトラブルショットは全員がボールの行方をよく見、全員で探す
- 素早く自分のセカンドショット位置へ行き、クラブ選択の決断をキャディが来る前に行う
- グリーンでも準備できたプレイヤーからバッティングをする

かねてより言われている数本のクラブを持っていくなどもありますが、ちょっとした工夫で十分可能なものばかりでした。すれ違うメンバー組の様子も観察させていただきましたが、普通に会話もされており、急ぐ、忙しいという印象はなく、むしろ引き締まった、小気味良いペースでのラウンドと見受けられました。

目土袋は不要だった！？

当日は目土袋を持ってラウンドしましたが、使い場がほとんどありませんでした。理由は2つ。

1.ディボット後はすべて目土されている

2.キャディカートにはディボット跡用に金属カップで目土が用意されている

これは、キャディカーに4個の金属カップ（マグカップサイズ）が備えられており、プレイヤー、キャディがその場で目土します。PCCでもすぐに採用できるアイデアと思います。

レストランで広がるメンバーの会話

多くのメンバーは18ホールのスルーラウンド後にレストランで一献傾けながら歓談しています。テーブルを越えてメンバーの会話が広がり、近況の交換、他業界の概況など大人の交流の場となっています。クラブバスで最寄りの駅から帰宅できる地の利もありこのような交流の場がレストランとなっているのも特徴といえましょう。

先に書いたようにあらゆる場が、メンバー間の交流の場としてクラブが存在している印象です。

名門「霞ヶ関カンツリー倶楽部」とはなんなのか？

クラブホームページから引用します。

倶楽部の三箴（さんしん）
倶楽部の会員同志は一家族の如く親しみ合い、信じ合っていきたい
技術よりも、フェアプレーのゴルフ・スピリットを第一に発揚したい
コースはどこでも我が座敷のごとく心得たい

『グッドフェローシップ』の発揚がK.C.C.創立以来のモットーである。挨拶から始まり、倶楽部の運営に対する協力と奉仕、会員は全て対等の友、敬老精神の尊重、周りへの気配り、ゴルフ・スピリットの発揮、ファストプレー、地元との共存共栄など、霞の全てが包含される。
<https://www.kasumigasekicc.or.jp/membershipClub/01.html>

これらが単なる文字面だけでなく、メンバーシップとして体现されている姿を目の当たりにした2日間でした。

最後になりましたが、我々の訪問を快諾され手配いただいたK.C.C.今泉博総支配人、またこのような機会を設けていただいた長嶺本部長、田村総支配人、井上競技委員長、黒田同副委員長、杉尾フェローシップ委員長に御礼を申し上げ、この駄文を訪問記として締めさせていただきます。

コラム | column

ダンロップフェニックストーナメント50回大会

(株)フレンド企画
代表取締役社長 渡辺 裕之

今年、節目となる50回大会を迎えた『ダンロップフェニックストーナメント』（主催：住友ゴム工業、フェニックスリゾート、毎日放送）は、2023年11月16日（木）から19日（日）までの4日間、フェニックスカントリークラブを舞台に国内外84名のトッププレイヤーが集い、賞金総額2億円（優勝賞金：4,000万円）をかけて熱戦が繰り広げられた。

1974年に帝王ジャック・ニクラウスや年間8勝を挙げてPGAツアー賞金王に輝いたその年の主役・ジョニー・ミラー（第1回大会チャンピオン）らを招聘して始まった本大会は、以来50年に渡りフェニックスカントリークラブを舞台として、世界のトッププレイヤーたちを招聘し、新帝王トム・ワトソン、セベ・バレステロス、タイガー・ウッズら一時代を築いた世界最強プレイヤーたちが参戦、大会の歴史にその名を刻んできた。

これまでの50年の歴史の中で269人の海外選手を招聘し、そのうちメジャー優勝者は74人（通算メジャー勝利数は171勝）という、まさに国内最高峰のインターナショナルトーナメントとなっている。

今年、年の大会では50回記念大会にふさわしく、海外から本大会2014年の覇者・松山英樹が2019年以来、4年ぶり9度目の出場が実現。2021年に日本人男子初のマスターズチャンピオンとなって以来、初めての日本ツアー参戦となった。

また、同じく本大会2016・2017年の覇者・ブルックス・ケプカも出場。今年、自身メジャー 5勝目となる3度目の全米プロゴルフ選手権優勝を挙げ、本大会には2018年以来、5年ぶり4度目の出場となった。

他にも今年の全米オープンでメジャー初制覇を成し遂げたウィンダム・クラークと9月の「フォーティネット

選手権」で米ツアー初優勝を飾ったサヒス・ティーガラ、米PGA下部のコーンフェリーツアーで2勝の期待の若手ノーマン・シオンの3名も招聘選手として出場した。

大会は50回記念大会らしく、会場の随所で歴史を感じさせる装飾やモニュメント、そして多くの記念イベントが開催された。2021年に開場50周年を迎えたフェニックスカントリークラブも大会前から「トリビアクイズキャンペーン」を実施、また会場に来場したギャラリーへのホスピタリティなどの面でもおおいに大会を盛り上げた。コロナ禍後の通常開催となった今年の大会では、4日間で約17,000名のギャラリーが大会を盛り上げるという、ダンロップフェニックストーナメント本来の姿が戻り、感慨深い大会でもあった。

競技では松山英樹が初日に8アンダーでトップに立つなど、その地力を見せつけるスタートとなったが、2日目から首位に躍り出たアマチュアの杉浦悠太が接戦をそのまま逃げ切り、圧巻の12アンダーで大会初のアマチュア優勝を達成。直後のテレビインタビューではプロ宣言が飛び出すなど、多くのギャラリーからも拍手喝采を浴びる中、第50回の『ダンロップフェニックストーナメント』は盛況に終了した。

節目となる50回記念大会を迎えるとともにアマチュアの優勝など、次の50年に向けては新時代の到来を感じさせられる大会となり、歴史を刻み続ける本大会。次の一歩を踏み出す第51回大会ではどのようなドラマが待っているか、今から楽しみである。



チャンピオン
杉浦悠太選手

ようこそ！

世界のトッププレイヤーが集うフェニックスカントリークラブへ！！

2023年度入社社員紹介



金丸さん
スターター



成田さん
レセプション&レストランサービス



緒方さん
キャディースタッフ



濱砂さん
キャディースタッフ



宗像さん
キャディースタッフ



【左から】宮島様、永井様、地村様、杉尾様、本田様、成松様、山内様、乙守様

第51回九州インタークラブ選手権大会 2019年以来、2大会ぶり2度目の優勝！！

この大会は、九州ゴルフ連盟（GUK）主催競技唯一の団体戦である。出場チームはGUK加盟のクラブで、クラブ代表選手6名とアドバイス・ギバー1名計7名で参加し、その内ベスト5人の合計スコアで優勝を争う。選手構成は、チームキャプテン永井勝己様、成松和幸様、山内浩二様、乙守修様、本田豊明様、宮島孝美様、アドバイス・ギバー地村直通様であった。

フェニックスカントリークラブチームは地区予選を勝ち進み、決勝大会は熊本県天草市のザ・マスターズ天草コースで行われた。

結果は、トータル384でフェニックスカントリークラブチームが、2位の大分竹中CC（大分県）福岡雷山GC（福岡県）に2打差で2019年以来、2大会ぶり2度目の優勝を飾った。